

教育委員会定例会議事日程

令和3年11月4日(木) 午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項
新型コロナウイルス感染症への対応について
小学校・中学校個別支援学級、通級指導教室及び特別支援学校の ICT 機器
活用事例について
- 3 審議案件
教委第 33 号議案 横浜市学校規模適正化等検討委員会委員の任命について
- 4 その他

令和3年11月4日

教育委員会定例会 一般報告

1 市会関係

- 10/22 決算第一特別委員会（採決）
本会議（第5日）決算議決

2 市教委関係

（1）主な会議等

- 10/30 網島東小学校創立50周年記念式典

（2）報告事項

- 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 小学校・中学校個別支援学級、通級指導教室及び特別支援学校のICT機器活用事例について

3 その他

新型コロナウイルス感染症への対応について

1 教職員・児童生徒の新型コロナウイルス感染状況

前回の報告（令和3年10月15日）以降の教職員の感染者は0人、児童生徒の感染者は14人、感染者が発生した学校は合計12校です。

なお、令和2年6月1日の学校再開以降の教職員の感染者は404人、児童生徒の感染者は3,291人、感染者が発生した学校は499校となっています。（令和3年11月2日17時現在）

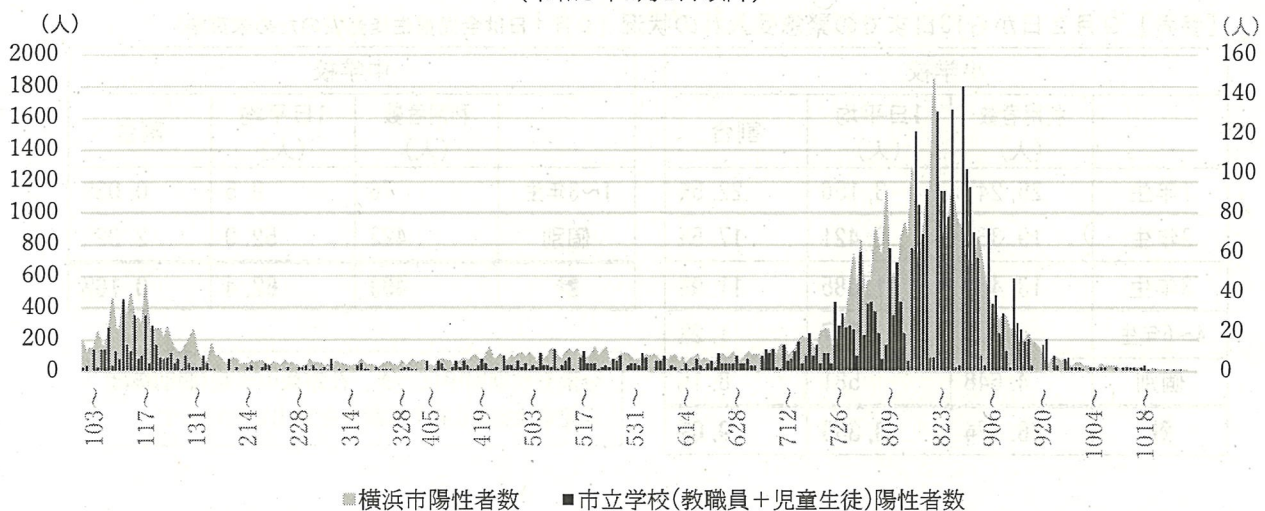
学校からの報告を基にした学校関係者の感染状況については、減少傾向が続いています。

学校関係者の感染者数（10月4日～11月2日17時時点の学校からの報告に基づく人数）

集計期間	教職員感染者数	児童生徒感染者数	合計
10月4日～10月10日	0	9	9
10月11日～10月17日	0	11	11
10月18日～10月24日	0	7	7
10月25日～10月31日	0	3	3
11月1日～11月2日17時	0	1	1

※教職員は判明日、児童生徒は報告日で集計しています。

横浜市内の陽性者数と市立学校陽性者数
(令和3年1月1日以降)



2 教職員を対象とした新型コロナウイルス感染症 モニタリング検査 (PCR 検査) の実施について
 内閣府から文部科学省を通じて、教職員へのモニタリング検査 (PCR 検査) の協力依頼があり、実施に向けて準備を進めました。10月25日から11月30日まで、学校単位で希望する教職員に、期間中1回の検査を行っています。(実施校：497校予定)

なお、モニタリング検査実施1週目(10月25日～10月29日)で94校1,524人が検査に参加し、結果は全員陰性、陽性率は0%となりました。

3 分散登校期間中の緊急受入れ及び「感染への不安」を理由に自らの登校日に1日も登校しなかった児童生徒数について

分散登校により段階的に学校を再開した令和3年9月における、緊急受入れの利用状況と、「感染への不安」を理由に登校を見合わせた児童生徒について、小学校及び中学校を対象に9月1日から9月13日までの前半期間と、9月14日から10月1日までの後半期間の2回に分けて調査を行いました。

調査結果については、以下のとおりですが、緊急受入れの利用状況は前半と後半を通じて大きな変化はなかった一方で、登校を見合わせた児童生徒数は、後半にかけて半減するなど、感染動向等に鑑みて変容が見られました。

(1) 緊急受入れの状況について

ア 9月2日から9月13日までの状況

小学校では、計8日間で66,874人、1日あたり約8,360人の児童が緊急受入れを利用していました。対象となる児童全体に対する割合は10%以下ですが、学年が低いほど割合は高く、1年生は2割強、2年生で2割弱という状況でした。

中学校では、同じく8日間で499人、1日あたり約62人の生徒が利用していました。対象となる生徒全体に対する割合は、毎日0.1%台で推移しました。

【参考】9月2日から13日までの緊急受入れの状況(9月1日は全児童生徒登校のため未実施)

小学校				中学校			
	利用者数 (人)	1日平均 (人)	割合		利用者数 (人)	1日平均 (人)	割合
1年生	25,247	3,156	22.5%	1~3年生	76	9.5	0.03%
2年生	19,364	2,421	17.5%	個別	423	52.9	2.39%
3年生	13,482	1,685	11.9%	計	499	62.4	0.16%
4~6年生	4,133	517	1.2%				
個別	4,648	581	8.1%				
計	66,874	8,359	9.0%				

分散登校期間中につき、在籍数の半数(個別級は全児童生徒)に対する割合を算出しています。

イ 9月14日から10月1日までの状況

小学校では、計12日間で101,331人、1日あたり約8,400人の児童が緊急受入れを利用していました。対象となる児童全体に対する割合は10%以下ですが、学年が低いほど割合は高く、1年生は2割強、2年生で2割弱という状況で、前半と同じ傾向でした。

中学校では、同じく12日間で715人、1日あたり約60人の生徒が利用していました。対象となる生徒全体に対する割合は、毎日0.1%台で推移しており、小学校と同様に、前半と傾向に変化はありませんでした。

【参考】9月14日から10月1日までの緊急受入れの状況

小学校				中学校			
	利用者数 (人)	1日平均 (人)	割合		利用者数 (人)	1日平均 (人)	割合
1年生	37,872	3,156	22.5%	1~3年生	126	10.5	0.03%
2年生	29,092	2,424	17.5%	個別	589	49.1	2.22%
3年生	20,408	1,701	12.0%	計	715	59.6	0.15%
4~6年生	6,471	539	1.2%				
個別	7,488	624	8.7%				
計	101,331	8,444	9.1%				

分散登校期間中につき、在籍数の半数(個別級は全児童生徒)に対する割合を算出しています。

(2) 「感染への不安を理由に、自らの登校日に1日も登校しなかった児童生徒」の状況について

ア 9月1日から9月13日までの状況

学校を再開した9月1日から9月13日までの期間に、「感染への不安を理由に、自らの登校日に1日も登校しなかった児童生徒」の状況ですが、小学校では2,476人でした。平均で1.4%の児童が登校を見合わせている状況でした。

中学校では231人でした。平均で0.3%の生徒が登校を見合わせている状況でした。

【参考】9月1日から9月13日までの「感染への不安を理由に、自らの登校日に1日も登校しなかった児童生徒」の状況

小学校			中学校		
	欠席者数 (人)	割合 (对在籍)		欠席者数 (人)	割合 (对在籍)
1年生	406	1.4%	1年生	71	0.3%
2年生	361	1.3%	2年生	65	0.3%
3年生	399	1.4%	3年生	56	0.2%
4年生	374	1.3%	個別	39	1.8%
5年生	336	1.2%	計	231	0.3%
6年生	349	1.2%			
個別	251	3.5%			
計	2,476	1.4%			

イ 9月14日から10月1日までの状況

9月14日から10月1日までの期間に、「感染への不安を理由に、自らの登校日に1日も登校しなかった児童生徒」の状況ですが、小学校では、1,303人でした。平均で0.7%の児童が登校を見合わせている状況でした。人数、割合ともに前半と比較して半分程度に減少しました。

中学校では、121人でした。平均で0.2%の生徒が登校を見合わせている状況でした。中学校も小学校と同様に、人数、割合ともに前半と比較して半分程度に減少しました。

【参考】9月14日から10月1日までの「感染への不安を理由に、自らの登校日に1日も登校しなかった児童生徒」の状況

小学校			中学校		
	欠席者数 (人)	割合 (对在籍)		欠席者数 (人)	割合 (对在籍)
1年生	190	0.7%	1年生	32	0.1%
2年生	180	0.7%	2年生	29	0.1%
3年生	178	0.6%	3年生	21	0.1%
4年生	208	0.7%	個別	39	1.8%
5年生	200	0.7%	計	121	0.2%
6年生	221	0.8%			
個別	126	1.8%			
計	1,303	0.7%			

4 学校行事(修学旅行や運動会等)の実施状況について

(1) 運動会・体育祭及び文化祭・合唱祭等について

原則、食事を伴わない実施方法を検討し、マスクを外す時間を極力短くすることとしています。併せて、感染症対策の内容は保護者や地域の理解を得るよう通知しました。

<学校で講じている感染症対策の例>

- 内容を精選して、半日程度の開催とするなど、時間を短縮して実施。
- 身体的接触を伴わないようにするなど、種目の工夫。
- 学年ごとや、低・中・高学年ごとに実施し、保護者も同様に入れ替え制。
- 参観者を限定したり、参観する場合は、位置を指定。
- 事前の健康観察を徹底し、風邪症状がある者は参加しない。
- 競技・演技中や応援時、マスク着用の上でもできるかぎり2m(最低1m)空けるようにする。
- 徹底した換気を行い、手洗い・手指消毒や検温、私語を慎むなどを確実に実施する。

(2) 遠足(旅行)・集団宿泊的行事について

マスクを外す時間を極力短くするよう、感染症対策を徹底した上で実施可としています。なお、目的地が、まん延防止等重点措置区域等に指定された場合や、感染状況が悪化し来訪自粛を求められている場合は、感染拡大防止の観点から控えることが適当と考え、原則として中止又は延期するよう通知しました。

<学校で講じている感染症対策の例>

- 移動の際のバスを増便する。公共交通機関を使用しない。
- 全館貸切にしたり、余裕をもって部屋数を確保し、一部屋あたりの人数を少なくする。
- 大浴場は使用せず、部屋に付いているユニットバスを使用する。
- 行先地を県外から県内に変更する。

小学校・中学校個別支援学級、通級指導教室及び
特別支援学校の ICT 機器活用事例について

1 小学校個別支援学級

教科等	活用事例	授業の様子
国語	<p>① 「迷子のお知らせ」を聞く時に絞り、話を聞く時に大事な何かを確認 →迷子のお知らせはデジタル教科書の音声を使用。音声は児童の実態に合わせて読む速さを変える →メモを取ることの良さに気づく</p> <p>② 友達が考えた迷子の特徴を聞き取り、挿絵の中から特徴に合った子を見つける。 →自分の発表動画を見て振り返る</p>	
理科	<p>① メダカの受精卵の観察</p> <p>② 虫眼鏡より顕微鏡で観察した方が大きく見える →操作が難しく、思うように見ることができない</p> <p>③ 顕微鏡の画像をタブレット端末で撮影 →タブレットで画像を見ながら観察カードに記録</p> <p>④ 顕微鏡の画像を動画でも撮影 →心臓や血液の動きも観察可能</p>	

2 中学校個別支援学級

教科等	活用事例	授業の様子
数学	<p>① 説明で使うスライドを全生徒に発信 →自席で chrome book を開き確認</p> <p>② テスト機能を使い、授業の最後に確認テストを実施</p> <p>③ 問題は、単一選択、複数選択、自由記述と設定することが可能</p> <p>④ 自動採点に設定しておくとも採点までしてくれる。</p>	
体育	<p>① 実技の様子(動画)生徒のロイロノートに送る</p> <p>② 生徒は自分たちの実技の様子を動画で確認 →課題発見など振り返りに活用</p> <p>③ 雨の日やクラスの時間などを使って、全員で確認し、良かったところや課題などの意見交換</p> <p>④ 意見はロイロノートのテキスト機能を活用 →その場で入力し提出でき、比較も可能</p>	

3 通級指導教室

通級 & 在籍校での ICT活用～連携・協働～ ①

【メモ機能の活用】

通級

・音声入力に自信があり、積極的に取り組む



吾輩は猫であるわかったこと。回数や日数が違っても平均値を比べるとわかりやすい=説得力がある。

<メモ

今度12月12日に体育館で天下統一(ドッチボール的な遊び)をするのですが面積が広すぎて自分たちが投げたボールが自分たちが取れないところまで行くので先生たちにお願ひがあります。どなたか2名ボールを拾いに行くの手伝ってけませんかよろしくお願ひします。

通級 & 在籍校での ICT活用～連携・協働～ ②

【メモ機能の活用】

通級

・音声入力に自信があり、積極的に取り組む



ブルーベリーは屋外の日当たりの良い所で育てるのが適しています。半日陰でも育ちますが花つきが悪くなりますなるべく日当たりの良いところに置くほうが元気な株に育ちます。



通級 & 在籍校での ICT活用～連携・協働～ ③

通級

・社会のテストをアプリ (Skitch) で撮り、テキスト入力する方法を紹介



・テスト自体には関心がなく、内容はみないが、入力方法は理解

・中学や高校で、タブレットなど代替手段を活用することに前向きになりつつある。



通級 & 在籍校での ICT活用～連携・協働～ ④

在籍校



4 特別支援学校(肢体不自由)

小学部1年 道徳

NHK For School. アプリの操作を自分で行っています。

タップする→動画が始まる
認知の学習につながっています。



小学部5年生 国語

デジタル教科書を使用しています。

教科書のページも自分でめくられるようになりました。

自宅からオンラインで参加している同級生と、意見交換もできるようになりました。



中学部 国語

Google活用例

小説の登場人物の相関関係をジャムボードを使って整理しています。色の使い分けをしなが、考える場面→発表する場面につなげています。



中学部1年 自立活動

挨拶の仕方について勉強中

画面をタップすると、

「おはよう」と読み上げます。

誰かに会った時に絵を選んで挨拶をすることができるようになりました。

